

広域交流型オンライン学習・中学校(5月)

～地理的な見方・考え方とは何か、それをどのように働かせることができるか～

広島大学 草原和博・金鍾成

1. 概要

新学習指導要領の大きな軸になっている見方・考え方であるが、その定義の曖昧さのゆえに、何をどのように教えて学ば良いのかも不明瞭な状況である。

そこで、子どもが社会科における見方・考え方の具体を把握し、それを働かせる方法を提案するオンライン遠隔授業を行う。

5月には、地理歴な見方・考え方を主に取り上げる。授業はT1(金, 草原)の進行と、T2(各校の授業者)の各学級での指導で展開する。機器の操作は大学院生や本市ICT支援員がサポートする。

2. 授業内容

○「見方・考え方」とは？

・追求の視点(=レンズ=問い)や方法(手続き的知識)

○「見方・考え方を働かせる」とは？

・社会的事象について問うこと

・社会的事象を捉えるための視点を問いにすること

・問いを探究、課題を解決すること

○「地理的な見方・考え方」=「地理する Doing Geography」ための視点や方法

(代表例)

どこか(位置)

そこには、何があるか(場所)

そこにあるものには、どのような関係にあるか(人間と環境の相互作用)

そこにあるものは、他の場所とどのように結びついているか(移動)

そこはどのようなところか。どのように変わってきており、どのように変わっていくか(地域)

3. 見方・考え方を把握し、それを働かせる方法を教える授業のデザイン原則

① 日常的な私たちの社会の捉えのなかに隠されている見方・考え方に気づかせる。

② 見方・考え方を具体的に意味ある文脈で学習する体験を与える。

③ 見方・考え方を働かせる機会を設け、見方・考え方の機能や効果を実感させる。

④ 見方・考え方を自らメタ認知できるように、見える化・図式化する。

⑤ 見方・考え方を働かせる際には、地理的・歴史的・社会的な見方・考え方を総合的に活用する必要があることに気づかせる。

⑥ 授業を離れて、日常生活の場面でも見方・考え方を働かせるように支援する。

4. 日時および参加予定校

○日時：2023年5月14日（火）5時限目：13時40分～14時30分，6時限目：14時40分～15時30分

○参加予定校：東広島市内中学校の1年生（4校，4クラス，102名）

5. 単元名および目標

○単元名：「地理的な見方・考え方を学び，社会をより深く理解しよう！」

○広域交流型オンライン学習の目標

- ・見方・考え方を働かせると，社会をより深く理解できることに気づくことができる。
- ・位置，場所，人間と環境の相互作用，移動，地域などを代表例とする地理的な見方・考え方を理解し，実際に働かせることができる。

6. 授業展開（とくに黄色の箇所は，各クラス単位で活動していただきます）

T1（金・草原）の動き	予想される生徒の反応	T2（各学級の社会科担当者）の動き	ホスト（広大）と中継先の動き
<p>【導入：地理をなぜ学ぶか？】</p> <p>○地理のイメージの可視化（8）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みなさんがいま一生懸命学んでいる「地理」ですが、「地理」と聞くと何を思い出しますか？Formsに書き込みましょう。 ・クラスのなかで「地理」に対するイメージについて話し合い、他のクラスに紹介したいイメージを2つ選んでその理由とともに発表しましょう。 <p>○地理的な見方・考え方の学習の必要性の説明（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なるほど。本日は、ゲストとして地理に詳しい草原先生にお越しいただきました。草原先生、生徒たちの「地理」のイメージ、どのようにお考えでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の内容を覚える ・地図や地球儀 ・各県の特産物 ・世界の国旗など <ul style="list-style-type: none"> ・みなさんはすでに「地理」に対する豊かなイメージを持っていますね。しかし都道府県の名前など地理の内容に重きが置かれているような気がします。「地理」は内容も重要ですが、地理的に見る・考える方法、すなわち地理的・見方考え方を学ぶ機会でもあります。そうすることで、社会をより深く理解することができますよ！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンをネット接続させる。 ・ディスプレイの音声を調整する。 ・生徒のタブレットに，本日の授業の画面を表示させておく ・生徒のForms入力状況を確認する。（T3はスプレッドシートを表示） ・他のクラスに紹介したいイメージを2つ選ぶ→発表者をカメラの前に着席させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・T1と参加校との事前交流（挨拶，音声・カメラテスト）を支援 ・OP動画の再生（開始12分前） ・各校にアンケートのリンク集をチャットにて大学本部より送る（フォームとスプレッドシートのリンク）。 ・指名された学級をスポットライト

<p>・では、草原先生がいう地理的な見方・考え方はどのようなものを学び、それを使って社会をより深く理解するための準備をしましょう。</p>			
<p>【目標の提示】</p> <p style="text-align: center;">地理的な見方・考え方を学んで、社会をより深く理解しよう!</p>			
<p>【展開1：地理的な見方・考え方の獲得】</p> <p>○課題の提示（20）</p> <p>1 あなたが蕎麦屋を開くならば、どこに開きたいですか。（3）</p> <p>2 この写真はどこだろう。分かるかな。（2）</p> <p>3 動画と写真で「さわやか茶屋」について説明するよ。（3）</p> <p>4 「さわやか茶屋」にはどのような秘密があるんだろう。「さわやか茶屋」について気になったことを問いに表現しよう。</p> <p>①まず個人で問いを考えて、Formに入力しよう。（5）</p> <p>②クラスでどのような問いが出たかを確認し、他のクラスと共有したい「これぞ地理的な問い」を3つ選ぼう。（7）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町のなか。お客さんが多いから ・交通が良いところ。お客さんが来やすいから ・おおお！これはどこだろう？ ・もしかして、これは河内町の宇田地区の「さわやか茶屋」かな？ ・へえー。人気のそば屋さんか。ネットの★も多いね。評判だね ・これはどこだろう（位置） ・河内駅から、どっちの方向へ、どのくらいのところにあるのだろう（移動） ・このそば屋は、いつごろできたのかな（時期・年代） ・周りには何があるのだろう、人は住んでいるのかな（場所） ・なんでこんなところに、評判のそば屋があるのだろう（位置） ・ここに、お客さんはどのくらい来るのかな（消費者、需要） ・この周りの人口は、どのくらい減ったのだろう（変化） ・なんで30年前（1999年）にそば屋ができたのかな？地域の人口変化とどんな関係にあるのかな（相互の関連） ・昔と今では、建物の使い方には違いがあるのかな（類似と差異、比較） ・料理＝天ぷらの材料は何だろう。地元の野菜かな（人間と環境の相互作用） 	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットで【資料1】さわやか茶屋の航空写真、さわやか茶屋の建物・料理の写真を見せる ・生徒のタブレット操作を支援する ・問いを Google Form に入力させる（スプレッドシートを表示） ・地理的な見方・考え方に限定せず、気になったことは遠慮せずに気軽に入力させる ・支援員の助力を得て、生徒の入力結果を大型ディスプレイ画面で眺める。結果をみながら、他の学校の生徒に紹介したい「これぞ地理的な問い」を3つ選ぶ。選んだ問いは、支援員と協力して Jam Board に入力する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の閲覧状況を確認する ・動画を再生する ・残り30秒のカウントダウン表示（タイマー音は消す） ・各学級の入力結果を閲覧するためのURLをチャットに貼り付ける。結果の閲覧をサポートする。 ・Jam BoardのURLをチャットに貼り付ける。T2の入力を支援する ・Jam Boardを共有する。入力が完了したら4枚をコピーし、各校名を追記する。

<p>○発表とその省察→地理的な見方・考え方の習得（20）</p> <p>1 「さわやか茶屋」について各クラスではどのような問いをつくったかな？発表しよう。</p> <p>2 草原先生、地理的な見方・考え方にはどのようなものがありますか。問いて使われている見方・考え方を短い概念やモデル図で紹介するよ。</p> <p>3 各クラスから出された問いを、地理的な見方・考え方の代表例に当てはめていくよ。</p> <p>4 草原先生、みなさんの問いの分類をどのように評価しますか。また、みなさんの問いに答えてください。</p> <p>5 地理的な見方・考え方に注目しながら、「さわやか茶屋」の秘密をFormsにまとめよう。</p>	<p>用），それとも他の町から取り寄せているのかな（移動，消費）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お客さんはどこからきているのだろう？地元客が多い？働いている人はどこからきているかな？（移動，消費者，労働者） ・この宇山って地区は，10年後はどうなっているだろう。そば屋は続いているかな（地域） <ul style="list-style-type: none"> ・どこか（位置） ・そこには，何があるか（場所） ・そこにあるものには，どのような関係にあるか（人間と環境の相互作用） ・そこにあるものは，他の場所とどのように結びついているか（移動） ・そこはどのようなところか。どのように変わってきており，どのように変わっていくか（地域） <p>・例）「さわやか茶屋」は、駅やバス停からも遠く、交通が不便な山中に位置しているそば屋である（位置、移動）。しかし、多くの人が訪れる人気店で（移動）、その秘密として、廃校にあった学校を町おこしのために蕎麦屋に改造していて地元の人々が集まるコミ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・T1 が各クラスを指名→代表生徒が Jam Board に入力した問いとその問いを作った理由を発表する ・地理的な見方・考え方のカードを黒板に貼って、モデルズを作る。 ・生徒と対話しながら、クラスごとに当てられた Jam Board を活用し、問いと地理的な見方・考え方を当てはめる。 ・生徒の Forms 入力状況を確認する。（スプレッドシートを表示 	<ul style="list-style-type: none"> ・指名された学級をスポットライト ・カードの使い方を T2 にアドバイスする。必要に応じてカードを差し出す（カードは黒板に貼っておくとよい） ・Jam Board の操作を支援する。
---	--	--	---

<p>6 見方・考え方を使いこなすことにはどんなメリットがあるのかな。</p>	<p>ユニティセンターとしての機能を果たすこと（場所、地域）、そばに加えて地元の新鮮な野菜で作った天ぷらが良い評判を得ていること（人間と環境の相互作用）、などがあげられる。</p> <p>・見方・考え方を意識的に使うと、いろいろな問いが立てられるね 新しい地理の世界が見えてくるね</p>		
---	--	--	--

休憩

<p>【展開2：地理的な見方・考え方の活用】</p> <p>○ 課題の提示</p> <p>1 韓国はどのような国かな。知っていることを Forms に書きましょう。何人かに聞いてるね（5）</p> <p>2 先ほど学んだ地理的な見方・考え方を生かして韓国を理解するとどのようになるだろう。地理的な見方・考え方を活かし、韓国をもっと深く理解するための問いつくって金先生に聞いてみましょう（10）</p> <p>①教科書をみながら、まず個人で問いを考えて、Forms に入力しよう。問いを書く際には、どのような地理的な見方・考え方を活用したかも一緒に書きましょう（5）</p> <p>②クラスでどのような問いが出たかを確認し、他のクラスと共有したい「これぞ地理的な問い」問いを3つ選ぼう（5）</p>	<p>・あまりしらない</p> <p>・韓国のり</p> <p>・キムチ</p> <p>・日本と近い国</p> <p>・日本ともめごとがある国</p> <p>・K-Pop</p> <p>・韓ドラ</p>	<p>・生徒のタブレットに、本日の授業の画面を表示させておく</p> <p>・T1 が各クラスを指名→代表生徒が韓国に関する自分の理解を発表する</p> <p>・生徒の Forms 入力状況を確認する。地理的な見方・考え方を中心に問いをつくるようにする。しかし、他の要素と重ねて問いをつくることは容認する。</p> <p>・支援員の助力を得て、生徒の入力結果を大型ディスプレイ画面で眺める。結果をみながら、他の学校の生徒に紹介したい「これぞ地理的な問い」を3つ選ぶ。選んだ問</p>	<p>・資料の閲覧状況を確認する</p> <p>・指名された学級をスポットライト</p> <p>・各学級の入力結果を閲覧するための URL をチャットに貼り付ける結果の閲覧をサポートする</p> <p>・Jam Board の URL をチャットに貼り付ける。T2 の入力を支援する</p> <p>・Jam Board を共有する</p>
---	---	---	---

<p>○金先生との対話→地理的な見方・考え方の活用の有効性の実感(15)</p> <p>1 韓国について各クラスではどのような問いをつくったな？発表して金先生から韓国について教えてもらおう。発表する時には、どのような地理的な見方・考え方を使ったのかもカードを使いながら教えてね。</p> <p>2 草原先生、先生だったら韓国をもっと理解するためにどのような問いをつくりませんか？</p> <p>3 韓国ってどのような国でしょうか。改めて Forms にまとめてみましょう。前に書いたものと後で書いたものを比較してみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広島から韓国までどのように行きますか (位置、移動) ・韓国の冬は本当に寒いですか。オンドルって本当に暖かいんですか。(人間と環境の相互作用) ・私たちが韓国にいったら楽しめることを教えてください(場所) ・キムチはなぜ辛いんですか(人間と環境の相互作用) ・韓国にも日本人はたくさんいますか(移動) ・なぜ、韓国は K-Pop や韓ドラが有名ですか(移動、人間と環境の相互作用) <p>・例)日本と近い国である韓国は、広島からは飛行機で80分程度の移動することで到着できる(位置、移動)。日本とは経済的・歴史的・政治的・文化的なつながりが深く、互いに交流し続けている(移動、人間と環境の相互作用)。←地域</p>	<p>いは、支援員と協力して Jam Board に入力する。</p> <p>・TI が各クラスを指名→代表生徒が Jam Board に入力した問いとその問いを作った理由を発表する</p> <p>・生徒の Forms 入力状況を確認する。(スプレッドシートを表示する)</p>	<p>・指名された学級をスポットライト</p>
<p>【まとめ：これからの学びへ】(10)</p> <p>1 私たちが普段の生活のなかで、地理的な見方・考え方を働かせることができるのは、どういうときだろう。</p> <p>2 みなさんの修学旅行先はどこですか？地理的な見方・考え方を生かし</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットやテレビで、ニュースをみるとき ・住んでいる町のようにすを他のまちの人に紹介するとき ・教科書に出ている出来事を理解するとき 	<p>・問いを板書しながら各クラスで5分程度議論する。発表はしない。</p>	<p>・指名された学級をスポットライト</p>

てその場所をより深く知るための問いをつくってみましょう。

3 見方・考え方をを使うと、これまで見えていなかったことが見えてくるね！ 授業を受ける前と後では、みんなの見える世界が変わったかな

・最後はギャラリービューに切り替える→笑顔で交流・挨拶